

2018・10 (No 102・A4)

NEW

アストロ・インフォメーション



☆☆ 21Pジャコビニ・チンナー彗星 ☆☆
撮影：吉野圭司（大分県大分市）
撮影日時 2018/09/17



大分天文協会

Astronomical Society of Oita

表紙コメント

家を出るころはべた曇りでしたが、会長の徘徊に付き合うつもりで、お気軽撮影セットを持って香りの森へ行ったところ、雲一つない晴天に恵まれ、久しぶりに夜空を満喫できました。くらげ星雲とモンキー星雲の間を通過中の彗星です。

吉野 圭司

～～目次～～

例会	01-02	例会報告
協会ニュース	03	内那さん277個目のSOHO新彗星発見
	03	故・船田工（ふなだたくみ）名誉会長「回顧展」開催中！！
	04	2018.10.02 故・船田名誉会長命日お墓参り
	04	2018.09.11 浦田正富顧問宅訪問
会友	05	「関東天文協会天文台通信153号」受領
活動報告	05	河内小学校天体写真展示
	05	2018.09.10香りの森活動報告
機材	06	バランスウエイトの保護
	06	アストロオークション！！
観測ガイド	06	イリジウムフレアが見られなくなる？！・涙
画像処理	07	DSS・Drizzleコンポジット 倍率比較
	07-08	斜めノイズ対策としてのポールマスター
天体写真集	09-14	報告画像ギャラリー
会誌	15	アストロインフォメーション バックナンバーのご案内
観望会	16	募集記録

編集部便り

梅雨同様、秋の長雨は、天文ファン泣かせですね！とはいえ、ここまで雨か雲に覆われた9月、というのは、そうそう記憶がありません。梅雨本番以外にも雨が降り続く時期はあって、3月下旬から4月上旬の、桜の花を散らすように雨が降り続く菜種梅雨が有名ですが、11月下旬から12月上旬の山茶花梅雨、なんてのもあるそうです。改めて言うまでもなく、9月には秋の長雨がありまして、実はこれ、芒梅雨（すすきつゆ）という別名があります。夏の間に減ってしまった水がめを潤す貴重な雨でもあります。編集の印象としては、6月の梅雨ほど天候不順が続く「〇〇梅雨」というのはない、という印象でしたのに、今年の芒梅雨は6月の梅雨以上に晴れ間がなのではないでしょうか？ 8月のあの水蒸気に覆われた真っ白な空とは違う、真っ青な抜けの良い青空が時折雲間から覗くのは、余計始末が悪いですね。これで晴れたらどんなにきれいな星空が見られるか、が分かるだけに。

そんな天候だった割には、皆さんがちゃんと撮影報告をされていることに驚きます。皆さん頑張っていますねえ！というか星を見ることでどうにかバランスを保って日常の激務に耐えることができる、だから、星が見えなきゃ壊れる・・・というところが本音なのかもしれません。

学会などで多忙を極めて雨でも晴れでも関係ない生活だった編集も、9月の後半には仕事の隙間ができました。息もつかせず一気呵成に次月の仕事を、というよりも、星を見てリフレッシュする休息を入れた方が、能率が上がるのだ！と騒ぎたててはみたものの、天気は思うに任せず、結局新規撮影ができないから昔の画像を処理し直してみる、という方向に走るしかありませんでした。毎年、自分にできる画像処理はこれが究極、と思うのに、1年後にまた違った処理ができるようになっているのは面白いですねえ。自分は下手だなぁ、と思っている画像が、上手だなと思って見ている人たちの画像にちょっと近づいた、という感覚が、より深みに誘います。

レイアウト改変のご連絡

NEWアストロ・インフォメーションは、印刷やタブレットでの閲覧を想定してレイアウトしていましたが、PDFをそのままPCで見る、という場合、1ページを画面にフィットさせた場合、大きなモニターでは文字が読めても、小さいモニターでは小さくて読みにくく、拡大すればページ下からスクロールして上まで戻らないと読み続けることができない、という形であることが、編集にはずっと気になっていました。やはり「スクロールでは読みづらくて」、という意見があることがわかりましたので、ページを半分に区切って、ページトップから区切り線までがPC画面で表示される程度の拡大時には、ページ最上部までスクロールし直すなくても読めるように、という配置にしてみました。読みやすくなった、読みにくくなった、など、ご意見があれば、編集者、もしくは、発行責任者に一報いただけると幸いです。 編集部

編集：2018年10/07

収載画像 インフォメーション (NO.4630) から
インフォメーション (NO.4683) まで

大分天文協会事務局

〒870-0924 大分市牧3-13-30

TEL：097-556-9565 FAX：097-556-5067

お急ぎの時は090-1923-7889 24時間 OK

wae@fat.coara.or.jp

大分天文協会ホームページ

<http://astro-oita.org/>

編集者：藤吉健児

発行責任者：山本幸司（会長）

記事内容などに質問・ご意見有るときは
大分天文協会事務局までご連絡ください。

October 10 2018

 $\pm$

6

3:28水星とスピカの
の接近($2^{\circ} 15'$)

13

9時
りゅう座流星群極大

20

22:02月と火星
の接近(1° 57')

27

2時
オリオン座流星群極大

14:37天王星が衝
(5.7等)

10月 2日・・・10月やぎ座流星群
10月 6日・・・10月きりん座流星群
10月 8日・・・10月おひつじ座流星群
10月10日・・・ぎょしゃ座δ流星群
10月15日・・・10月おおぐま座流星群
10月17 (8) 日・・・りゅう座 (ジャコビニ) 流星群 (おすすめ)
10月19 (18) 日・・・ふたご座ε流星群
10月22 (21) 日・・・オリオン座流星群 (おすすめ)
10月22日・・・こじし座流星群
10月24日・・・りゅう座ε流星群
10月28日・・・おおぐま座流星群

31

November 11 2018

 $\pm$

3

文化の日

10

00:32
水星が東方最大離角

17

月面X

24

勤労感謝の日

8時
しし座流星群極大

30

11月2日・・・おうし座 χ 流星群
11月4(5)日・・・りゅう座 λ 南流星群
11月5日・・・とも座 ρ 流星群
11月6日・・・おうし座南流星群
11月6日・・・おうし座北流星群
11月7日・・・おおぐま座 κ 流星群
11月10日・・・エリダヌス座 ϕ 流星群
11月12日・・・おし座流星群北群
11月13日・・・とも座 ϵ 流星群
11月14日・・・アンドロメダ座流星群
11月17日・・・し座流星群(おすすめ)
11月17日・・・エリダヌス座 ϕ 流星群
11月19日・・・11月ぎょ座 θ 流星群
11月22(21)日・・・いっかくじゅう座 α 流星群
11月27日・・・11月オリオン座流星群

2018.10/03 大分天文協会10月例会



☆☆ 大分天文協会2018年10月例会開催されました ☆☆
2018年度10月の月例会が無事開催されました。

参加いただいた皆さん、お疲れ様でした！

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

日時：10月03日（第一水曜日） 19時より

場所：コンパルホール地下1階団体活動室

参加者（12名）順不同です：

川端夫妻・村上・武石・阿部・井餘田・
津田・淵・丸野・古長・山本夫妻・奈須

主な内容

（1）9月の活動報告

- 9月1日（土）～30日（日）船田 工・海星館初代館長回顧展
関崎海星館 展望室他
9月03日（月） 日田市咸宜公民館「天体の話と星空観察会」
・・・担当：山本F
9月05日（水） 例会 <コンパル団活>
・・・17名参加、大いに楽しめました！
9月08日（土） 月例観測会（月齢27.7） 香りの森駐車場
・・・天候不良につき中止
9月15日（土）「久住高原星空の巡り」くじゅう花公園にて
・・・何とか開催されたそうです。

延期になりました！

9月22日（土）→ 10月7日（日）第四回・四季の星空観測

（2）10月以降の活動計画

◆印は、応援募集中です！！！！

【10月】

- 10月03日（水） 例会 <コンパル団活>
10月06日（土） 月例観測会（月齢26.4） 香りの森駐車場（予定）
10月7日（日） 第四回・四季の星空観測 野津原中部小学校
・・・担当：丸野さん・太田

◆10月7日（日）（仮称）香りの森大型双眼望遠鏡観望会
香りの森駐車場
・・・担当：奈須さん・参加者募集中

10月14日（日）「青少年のための科学の祭典大分大会2018」
津久見市民会館

担当：山本・丸野・太田親子・吉野夫妻・阿部

10月20日（土）「久住高原星空の巡り」くじゅう花公園にて（予定）

10月27日（土） 28日（日）全国天文愛好者交流会
香川大学教育学部

【11月】

- 11月07日（水） 例会 <コンパル団活>
11月17日（土） 月例観測会（月齢2）<香りの森駐車場>（予定）

【12月】

- 12月某日 忘年会（計画中）
12月1日（土） ウィルタネン彗星観望会<香りの森駐車場>（予定）
12月1日（土）～2日（日）天文教育普及研究会の九州支部会（予定）
12月5日（水） 例会 <コンパル団活>
12月8日（土） ウィルタネン彗星観望会<香りの森駐車場>（予定）
12月14日（金） ふたご座流星群（月齢6.8）<香りの森駐車場>（予定）

（3）秋の観測計画相談

10月07日（土） 第四回・四季の星空観測と
10月14日（日）「青少年のための科学の祭典大分大会2018」
の参加応援を皆さんにお願いいたしまして、なんとか人数が
集まりました、協力ありがとうございました。
なお、10月07日（土）の
（仮称）香りの森大型双眼望遠鏡観望会の実施については
10/5くらいに決定するそうです、決まりましたら
広報いたします。

（4）会報などの紹介

今月も友好団体から立派な活動の会誌などを
頂きましたのでみんなで楽しく閲覧させていただきました。

- ・星屑 NO. 523 熊本県民天文台
- ・ピクセンのSo-Ten-KenVOL68:2018秋号
- ・Kenko リーフレット



(5) 熊本から川端副会長ご夫妻参加

熊本在住の川端副会長が今月も例会参加のため、大分まで来てくれましたが、しかもご夫妻で！遠路本当にありがとうございます。惑星観測のエキスパートの副会長ですから、その辺のお話を聞くのはとても楽しいですね。また、熊本での観望会計画の話なども聞かせてもらいました。お疲れさまでした！！



熊本から参加の川端副会長夫妻

(6) 講和「県立図書館過去新聞記事紹介・Ⅱ」：津田さん

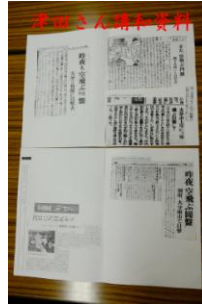
津田さんの、大分県立図書館過去新聞記事紹介その2回目です。気象などについても図書館に通い詰めて調べる勉強家の津田さん。調べるのは意外と大変で忍耐と神経をすり減らすくらい疲れるそうです。色々教えていただけるのはうれしいですが、体調考えて無理しないでくださいね！！

今回の講話テーマは「UFO」でした。気象が専門テーマの津田さんがUFOとは意外でしたが皆さん趣味の懐が深いですね！！県図書で探し出してくれた、大分県内の過去のUFO関連記事は4つ！！…そんな記事になっているの？！！

1952.8.11
1952.8.12
1953.2.4
1953.8.26

1952～53年に固まっていますね(すべてを調べたわけではないでしょうが)。ソビエト連邦がスプートニク1号を打ち上げたのは、1957年10月4日ですから、それ以前なので人工衛星と言うわけではないでしょうね。天体・気象に起因することが考えられますが、その点についての解説はありませんでした。あくまでも過去記事としての紹介です。

天文協会にも一時期、金星などを見間違えての市民からの問い合わせが何度も来たことありましたが、最近は減りましたね。本当にUFOは存在するのか？それとも見間違えか？皆さんはいかがお考えですか？



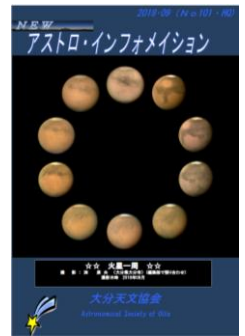
津田さん調べる資料



講和中の津田さん

(7) 会誌「NEWアストロインフォメーション」発行報告

9月は、NEWアストロインフォメーションNo.101号を発行いたしました。101号は8月の星天続きのおかげで会員皆さんの多数の観測報告があり、全40ページと充実した内容です。おかげで、ますます見ごたえある会誌となりました。観測投稿した会員の皆さんと藤吉編集長に感謝です。(ダウンロードなどの詳細は15ページをご覧ください)



(8) 「機材・お宝紹介」コーナー

村上さんが愛機のSky Watcher AZ-GTi+MAK90 を持参して紹介してくれました。ありがとうございます。

軽量コンパクトのこの架台、村上さんは、観測撮影中などの合間の観望などに使いたいそうです。小さく軽い経緯台にかかわらず、自動導入追尾つきですし、値段もとても破格です。中国での大量生産のメリットを最大限生かした機材のようですね。しかも三脚もセットですからね！！すごい。操作がスマホでと言うのも今流ですね・・・某女性会員は、村上さんの操作を真剣に見入っていました。小さく軽いというのは力の弱い(失礼)女性にはとても使いやすいのではないのでしょうか？某女性会員さん、買いますか？？それとも村上さんが手放すの待ちますか？(笑)今度、香りの森で実演して見せてもらいたいですね！村上さんありがとうございました。



自動導入経緯台AZ-GTi紹介 村上さん



説明に見入る山本さん



観測 報告

(10) お土産・プレゼント

- ・ピクセンのSo-Ten-KenVOL68:2018秋号
- ・Kenko リーフレット

が、奈須さんから例会参加者全員に配布されました(感謝)奈須さんが遅れてきましたので早く帰った方で欲しい方は奈須さんにご連絡をお願いします。

(11) 「今月のオークション」コーナー

- 「南限ギリギリ天体観測&天文気象講座」
- 「画像処理セミナー」

・・・今月はお休みでした。

(9) 観測報告

9月は、過去に記憶のない位天候が悪かったですね、秋晴れはどこに行ったのでしょうか？涙

そんなわけで、皆さんの観測報告も8月に比べると少なかったのは致し方ないですね。10月以降が反動で晴れが続くことを願っています。

山本から、9/23のH-II B打ち上げの画像やジャコビニ・チンナー彗星(21P)観測画像その他を報告させていただきました。



例会懇談風景

内那さん277個目のSOHO新彗星発見

大分天文協会会員の内那さんが280個目のSOHO新彗星を発見しました！！
本当におめでとうございます！
そして、お疲れ様です！

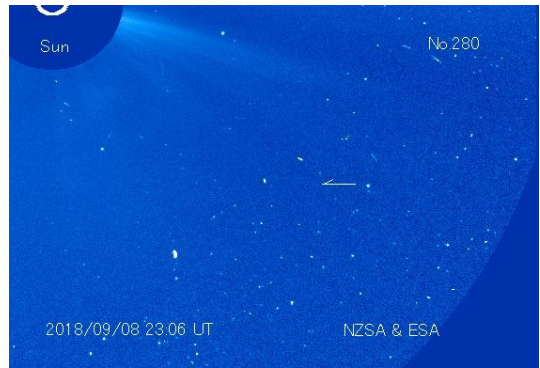
事務局

私(内那)は、太陽観測衛星SOHOに搭載されているコロナグラフ、LASCO-C3画像の、2018/9/8、23h06m~23h30mの3枚の画像から、Kreutz(クローツ)群の彗星を発見しました。23h06mの画像上の彗星のピクセル座標は、X=787、Y=728、(1024X1024、Upper Left)です。矢印の先に星がありますが、微かに見え始めたばかりの彗星で、写真では分かり辛いかと思います。その後、次第に光度を増しながら、太陽に接近しました。今年23個目、通算では280個目の彗星となりました。(ほかに2個のSTEREO彗星の発見があります)

I discovered a Kreutz group comet in LASCO-C3 images of Sep/08/2018.

20180909配信 No4635

内那 政憲



「故・船田工（ふなだたくみ）名誉会長 回顧展」開催中！！

大分天文協会名誉会長で故・船田工（ふなだたくみ）先生の、関崎海星館初代館長としての回顧展が関崎海星館で開催されています。

大分天文協会の初代会長として、県内外・海外の多くの方々に星空の美しさ、天文の楽しさを「天文楽」として伝えてこられた功績を回顧展として開催していただけるようで素晴らしい事です。今回は緊急の企画のようで8月末に海星館から協力の依頼が来まして、企画の説明と協力依頼に船田家に同行させていただき快諾いただきました。多大な功績は単発の回顧展では収まり切らないので、今後複数回にわたり開催していただけるようです。素晴らしい事です、関係者・海星館の皆さんに感謝です。天文協会での活動の写真も展示していただけるそうですので、船田先生にまたお会いしたい方・・・是非、海星館へ！！！！

事務局

<船田 工初代館長回顧展>

<http://www.kaiseikan.jp/event2018fall.pdf>

開催期間：平成30年9月1日（土）～30日（日）

開催場所：大分市佐賀関 関崎海星館 展望室他

私たちに天体の面白さを伝え続けてくださった
船田工初代館長の愛用の品や写真、功績などを紹介します。

平成28年10月にご逝去された、関崎海星館
初代館長 故船田工氏を偲び、これまでの功績や活蹟、
多くの方々に慕われたお人柄、
そして何よりも、私たちに天体の面白さを伝え続けてくださった
船田工初代館長の愛用の品や写真、功績などを紹介します



追伸 (09/22)

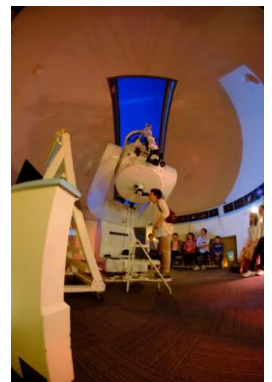
船田先生の回顧展、ようやく9/22夜に時間ができ、行くことができました。先生が毎日のように活躍されていた関崎海星館の展望室の一面に特別コーナーが設置されていました。懐かしい先生の写真、星追いの旅の一環として追い続けた世界中各地での日食写真、天文協会関連の思い出の写真、などが展示されています。期間は、今月いっぱいとのこと、皆さん是非ご覧ください、先生がお待ちですよ！！！！

追伸・2

ちょうど晴れてきたので、観測ドームに上がり、来館のお客様に交じって65センチ望遠鏡で観望させていただきました。(あっ！無論ちゃんと料金払いましたよ！・笑) 大分天文協会会員でもある西山台長の解説は、流石にプロだけあって丁寧で、優しく、ユーモアも含め、分かりやすく流石です、勉強になりました！(しばらく黙って交じって聞いていてごめんなさい) 土星・火星・天王星・海王星・球状星団・散開星団・星雲、二重星・恒星・・・いっぱい見せていただきました。やっぱり…見せていただくって、楽で良いですね！！

(笑)

山本 幸司



大分に船田先生あり、編集部が天文協会に関わるはるか以前から知っていました。実際にお会いしたのは忘年会で一度だけでしたが、印象は、優しい方！でした。ところで、フェイスブックの友の会の方ではタイ焼きがすいぶん話題になってましたね(笑)

編集部

今日は故・船田名誉会長の命日ですね、
はやいもので もう2年・・・生花などはお供えできない墓苑です
ので、先生の大好きでしたタイ焼きをお供えさせていただきました。
日本一のたい焼きですよ！！！！

201801002配信 No4679



2018.09.11 浦田正富顧問宅訪問

山本さんから、大先輩宅訪問と会報のお届けの報告が届きました、ありがとうございます。編集はそのことを伺ってはいましたが、自分の知る星好きの方たちの会誌とはスタイルが異なるこのインフォメーションですので、先輩の目にはどう写るのか実は不安です。評価いただけたようで嬉しくて涙が出そうです。それにしてもすごい機材たちですね。いつかは自分もと思わないでもないですが、編集にはとても使いこなせそうにないですね・・・(〜)ど 編集部

2018.09.11に、大分天文協会顧問の浦田正富さん宅を山本夫婦二人で1年ぶりに訪問いたしました。浦田顧問は今年確か93歳になられたはずですが、協会設立時から39年間の永きにわたり、顧問として協会活動をご指導いただいている大先輩です。

今回の訪問は、今年再発行した新しい会報をお届けするためです。会費を無料化した時に、ネット環境を一度は作っていただきましたがその後うまく連絡できなくなり、会の報告や相談はたまたまの電話で行っていたくらいで、大変心苦しく思っていました。藤吉編集長の努力でこんな立派な会誌が发行できるように会の運営も復活したのだから、是非会誌を見てもらいたいと印刷して報告を兼ね訪問する機会を待っていました。本来会誌はA4サイズですが、HQ版はクオリティーが高いのでA3サイズに拡大いたしました。流石にでかくて、新聞を見るかのようにですが、老眼の進んだ事務局の目にもこちらの方が楽ですね。(笑)

1年ぶりにお会いした浦田顧問は、足が多少お悪いようですがとてもお元気で、いつものように歓迎していただきました。あいさつの後、早々に大きな会誌をお見せして会誌復活の経緯や、編集の方法など説明し、持参した3冊をご覧いただきました。例会の様子や、写ってる会員を懐かしくも嬉しそうに、1ページ1ページ食い入るように見ていただきましたが、全部を一度には大変ですから、後でぐゅゅりとお渡しいたしました。藤吉編集長、浦田顧問が会誌の内容の充実ぶりにととても驚いて、本当にご苦労さまと伝えてくださいと言っておりますヨ！！！！



奥様が入ってくれました美味しいお茶や何時もの湯布院饅頭などを頂きながら、協会の話、会員の話、天文や気象の話に盛り上がりました。南天ぎりぎり天体の話から、カノプスをしばらく見ていないのでは非見たいのだが、ひとりで運転するのは自信がなくなったので残念だ・・と、話されていて何とかできないかと思案しています。奥様に会誌を説明させていただきましたが、すごいですね！！とお褒め頂きました。

機材の話から双眼鏡の話になった時、「私の双眼鏡見るかえ？」と
浦田顧問！「是非！！！」

すると・・・
筆筒の上や押し入れや倉庫から次から次へと、本当に続々と出てくる
は出てくるは！！！！最終的に双眼鏡10台ファイnderとしての単
眼鏡2台！！！！宮内光学BS-77EXCED、NIKON7×50、
VixenBT80M-A、高橋20×50 2.5度対空、Vixen16×70
その他・・・

高橋の双眼鏡、しかも対空とは？高橋はこんな製品も作っていたんですね！！！！お座敷に10台の双眼鏡がずっと並びと壮観ですね！！！！(笑)浦田顧問は、「まだ倉庫の奥に・・・」と独り言？あ！！！！もう結構ですよ！！！！(笑)浦田さんが変光星を双眼鏡で観測していたのは知っていましたがこんなに機材が多くあるとは知りませんでした。「並べてみるとこんなに多くあったんやな？！！！」のつぶやきを聞くと、お幾つになっても星屋の機材への熱いまなざしは同じですね！・(笑)

来年、大分天文協会は40周年を迎えます。大先輩の浦田顧問にはいつまでもお元気でこれまで同様ご指導をお願いしたいと熱望いたします。お邪魔いたしました！



201801002配信 No4681

大分天文協会顧問の田中千秋さんから「関東天文協会の天文台通信153号」が届きましたのでご紹介いたします。何時もありがとうございます。

P.S. 神津牧場天文台のHPは以下だそうです、皆さん是非ご覧ください。
<http://kouzu-obs.jp/>

事務局

こんにちは、関東天文協会編集人 田中千秋 です。
 添付ファイルのとおり会報天文台通信153号が完成しましたので、お送りします。ご笑覧ください。
 よろしくお祈いします。

20180910配信 No4636

田中 千秋



河内小学校天体写真展示

安元さんから、地元の河内小学校に天体写真を展示されたと報告が届きました、ありがとうございます。
 観測所にも小学生を招いて観測会したり頑張られてる安元さん、今度は、校長先生のご協力の元、天体写真展示を学校で行ったそうです。良い活動ですね！！！！
 地元では「星のおじさん」で通ってるんでしょうね！素敵な活動ですね、頑張ってください！！

事務局

河内小学校の廊下に天体写真を展示

テーマ 夏の星空

タイトルまで作っていただきました 校長先生と一緒に展示です
 不定期に更新する予定です 秋の天体写真頑張らなくては！！

20180906配信 No4630

安元 治義



2018.09.10香りの森活動報告

山本さんから9/10の香りの森出撃の報告を頂きました。ありがとうございます！

コンピューターの基本ソフト(OS)は、昨日の追加というだけでなく、セキュリティの問題からも次々と更新される、ということはいくらでもないのですが、古いOSと互換性がなかったりが多くて、本当に困ります。(Macの時は感じなかったのですけれど) こういうことでうまくいかないと本当に困々としてしまいます。折悪く悪天候が続いた時期でしたからね・・・編集もわずかに雲の間からすっきりした星空が見えた夜は、胸のつかえが下りたような気になったものでした。山本さんの場合、それで問題が解決するわけではないでしょうが、もう一度モチベーションを復活させる意味でも、夜空が見られてよかったですね！！

編集部

阿部哲也さんから「少しでも晴れたら香りの森で修理したNJP赤道儀の動作テストをしたいので一緒に行きませんか？」と天使のささやきのような？メールが来ましたので、引き寄せられるかのようにフラフラと香りの森に向かっていた。生憎、雲が多くて極軸のセットが出来ずテストは延期となりましたが、雲間から見える天の川を楽しみ天頂を駆け抜けた明るい流星に歓喜し、機材やカメラの話題で盛り上がり、楽しいひと時を過ごせました。記録としてスナップ写真を残しておきます。阿部さん、誘ってくれてありがとう、また行きましょう！！！！

追伸：

だましだまし使い続けてきた自宅のPCがいよいよ不調になってきたので、ついに買い替えとなりました。仕事関係のソフトは高い有料ソフトで問題ないのですが、天文など昔から使ってる趣味分野のフリーソフトは、最新のWIN10で動かない・・・それ以前に、ダウンロードできない物がいくつかありシックハックしています。一番驚いたのはステラナビゲータ9が入らない！！！！保守が切れているとはいえ、最新版ステラナビゲータ10のひとつ前のバージョンが何で入れられないんだ？IBPCのWIN10では動いていたじゃないか？・・・と思いついたら、ステラナビゲータ9を作ってる基本プログラムの骨格は2005年版くらいのもので、古すぎるそうです！！！！IBPCのWIN10で動いていたのは、もともとWIN7からのアップデートしたマシンでしたから動いたそうです。

そんなこんなで煮詰まっていたんですが、阿部さんに香りの森に誘っていただき、冷却出来て本当にありがたかったです！

20180913配信 No4645

山本 幸司



バランスウェイトの保護

太田さんから金星観察記録と機材工夫のご報告が届きました。バランスウェイトのフェルトは良いアイデアですね！機材を丁寧に扱う太田さんらしい工夫です。
事務局



バランスウェイトは使っているうちにぶつかったり、置いたりするだけで塗装が剥がれてきます。GPやATLUX用には赤スプレーをしていましたが、置き傷防止にフェルトを貼りました。GPD2用はかなり剥がれてしまっていますがとりあえず塗装はせずにフェルト貼りののみしてみました。

写真左:GPD2用の現状

写真中:GPD2用にフェルト貼り

写真右:GP用にフェルト貼り

ウェイトが紅白で運動会みたいですが。ウチは29日に運動会ですが、台風がこちらに向いてくるのか気になります。

20180924配信 No4668

太田 輝章

アストロオークション！！

太田さんから、断捨離ならぬ天文機材のオークション（お金は？？？）の情報が届きました、ありがとうございます。
一つは名機ASKOの16cmセンチですね・・・当時はあこがれたな！！！！古長天文台などに似合うのではないのでしょうか？
もう一つは、テントドームの骨組み。ニワトリする方に確かに良さそう！！！！温泉町のお医者さんなど使えそうですは？(笑)
いずれも関心のある方は太田さんにお問い合わせを！出来たら、たまには太田さんに例会にきて直接説明をしてもらいたいものです。

事務局

某所より譲り受けたASKOの16cmF8反射を使用したい人を募集します。重いのでチョイ見程度での出し入れは困難です。（キャスターでもつけられ可）。希望者あれば連絡下さい。希望無ければ望遠鏡博物館へ協会の名前で(?)寄贈します。良い画像ありませんが添付します。

アストロマイドームの骨を使用したい方を募集します。1.8mで組み立て容易です。ブルーシートでも被せれば簡易使用には耐えます。特に庭先観測している人には有効ではないでしょうか？あるいは遠征地での露避けや動物避けなどにも。中に入れているのは10cmGPです。

もちろんいずれもオークションなどで転売NGです。

20181001配信 No4667

太田 輝章



イリジウムフレアが見られなくなる？！・涙

微かな光点が暗くなっただけの夜空をゆっくりと移動、ああ人工衛星だな、と思うと突然猛烈な金色の輝きを放つ、そしてまたうっと元の明るさに戻りやがて漆黒の闇に消えてゆく。どうかすれば金星の輝きを想起させ、人工の天体ではあるものの宇宙と地球とを想起させてくれる現象でした。小学生のころ青空の中で銀色に光ったUFOは、同じような現象だったのでしょか？もうすでに姿勢制御も行われていないそうで予報も難しくなり、また、後継機種はこれまでほど太陽光を反射しないように作られているそうです。見るなら今のうち、ですね！
編集部

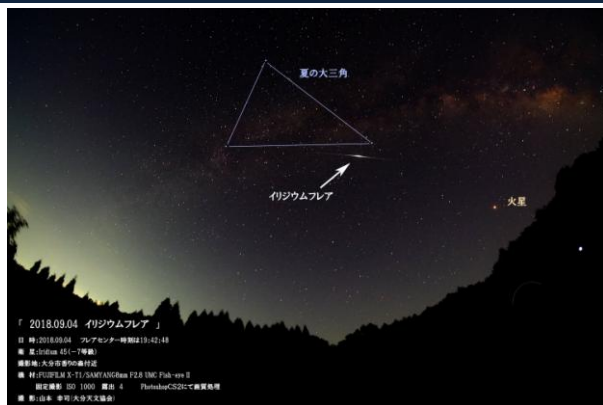
人工衛星がぴかっと光る「イリジウムフレア」、精度よく予報され、楽しませてもらってましたが、衛星の新旧更新で、新しい衛星は今までほど光らないそうです。見納めは近いようです、残念ですね！天体写真には邪魔になるときもありますが、観望会などでちょうどタイミングがあって、子供たちと観測すると超受けて盛り上がってましたから残念です、

https://twitter.com/lizard_isana/status/1037907347476103168

9/4に見た特大のイリジウム、こんなのが見れなくなるのはさみしいですね。

20180909配信 No4634

山本 幸司



日時: 2018.09.04
フレアセンター時刻は19:42:48
衛星: Iridium 45 (-7等級)
撮影地: 大分市香りの森付近
機材: FUJIFILM X-T1/
SAMYANG8mm F2.8 UMC Fish-eye II
固定撮影 ISO 1000 露出 45.0sec
Photoshop CS2にて画質処理

詳細は2018.09/05配信No4627

もしくは アストロインフォメーションVol101に掲載 編集部

DSS・Drizzleコンポジット 倍率比較

山本さんからDrizzle処理の拡大率の違いによる比較が届きました。ありがとうございます。
DSSのDrizzle処理、そもそもdrizzleとは霧雨の意味、当初drizzle処理すると細かいノイズがぶわっと増えるので、あ〜〜なるほど！と誤解した編集です（*≧m≦*）本当は情報を持ったピクセルを細かく分割することで拡大画像の処理することを指しています。小さい対象を拡大する、という意味だけでなく、周辺減光等の補正がどうやっても巧いかな部分のカットして処理する、という使い方を、実は編集はやっています。
焦点距離が違うレンズを揃えられたとしても、それを確実に追尾する赤道儀については、焦点距離に応じて巨大化するので、Drizzleを有効活用したいところでですね。

編集部

Apo-Sonnar T* 2/135 ZF.2と言う135mmのカメラレンズで撮影した画像を、DSS（DeepSkyStacker）と言う画像処理ソフトで3タイプの倍率で現像してみました。
1倍（そのまま） 2倍（270mm相当） 3倍（405mm相当）
このレンズは精細な描写で有名なレンズですが、周辺減光が大きくフラット補正がうまくいかないとなかなか難しいです。今回は何とかうまくいった感じがします。3倍ではさすがに星像が肥大しますが、2倍くらいは許容内かと思えます。本当はレンズを何本も欲しいですが！（笑）

20180921配信 No4661

山本 幸司

「 ガーネットスターとIC1396 」

日 時：2018.09.16 23：16~24：12

撮影地：大分市香りの森付近

機 材：JILVA-170（ノータッチガイド）

Nikon D810A・Apo-Sonnar T* 2/135 ZF.2（F2.5）

ISO 3200 177sec×20枚（計60分）

DSS（64bitVer.4.1.1）コンポジット

（darkなし／flat3枚）

Autosave（32Bit）処理 PhotoshopCS2・S I



斜めノイズ対策としてのポールマスターVol1

藤吉さんから、多数枚スタック時の「斜めノイズ」発症に対する「 PoleMaster新薬の効能検証報告 」が届きました。ありがとうございます。
以前、藤吉さんから PoleMasterの斜めノイズ対策レポートがあり驚いた記憶がありますが、今回はその効能の比較検証です。レポートを熟読すると各種比較検証結果は明らかですね！斜めノイズはガイドのずれが根源なのは間違いないようですね。対策は、「オートガイドなどでガイドのズレを追尾するのではなく」「ガイドのズレをなくすこと」が肝心そうですね！ガイドのズレ・・・その原因は、

- ①極軸ずれによる赤緯方向のズレ
- ②追尾精度（ギア・モーターなど）の不十分
- ③たわみや風・振動などによる外的要因

などが考えられますね。
藤吉さんのPoleMaster新薬は①に対して有効ですね！ただ、②に対しては赤道儀・追尾精度に由来しますからPoleMaster新薬のみでは不十分で、山本が報告しましたJILVA-170のコンセプト（機械的追尾精度の向上）などがその対策薬になるのではないのでしょうか？

③に対しては、赤道儀・取り付け部の頑丈さ、風よけや振動対策などの細やかな対策しかないようですね。

事務局

いやあ、目を覆いたくならんばかりの斜めノイズですね。その最大の原因に挙げられるのが撮影範囲の一定方向へのずれ、であることは2018年01月号のインフォメーションにも報告しました。

では、なぜその一定方向へのずれが発生するのか。そのもっとも大きな原因は極軸のずれによる、追尾方向のずれ、ということは明らかだろうと思います（オートガイドを行ってれば、ガイド鏡と撮影鏡の搭載部分のたわみの差の影響もあるでしょう）。であれば、PoleMasterで極軸を追いこんだらどうなるのか・・・興味深くありませんか？

というわけで比較をしてみました。撮影を行ったのは8/4と8/8、対象はおそらく短時間露光多数枚スタックのお世話になることが多いであろう彗星です。鏡筒はSKY90+レデューサー、カメラはEOS70D（lr）、フィルターなし、EM100でのノータッチ撮影です。PoleMasterの効能効果は、ガイドエラーの減少、だけでなく、斜めノイズの予防、もありましたよ！



雲間を縫っての撮影、だとか、比較的高性能の赤道儀を使っていて1枚当たりの撮影時間くらいはノータッチでも星が点像、という場合は、ガイド星ロストによるガイドエラーや、ガイド修正によってかえって星像が膨らんでしまったり、のリスクがなくなるノータッチ撮影、結構有効ですね。みなさんご存知の通り、僕は、ノイズが増える前に短時間で露出を終了してそれを多数枚スタックすることで長時間露光少数枚よりもSN比が高い画像を得られる、とする、短時間露光多数枚スタックの信者です。冷却モノクロCMOS以外での撮影は、ほぼこのノータッチ撮影を行っています。しかしその信者ではない方でも、彗星の撮影はメトカーフガイドを行うか、もしくはコマが動く前に撮影を終了して多数枚撮影するしかありませんので、短時間露光多数枚スタックは使うことあるはずです。

以前（2018年01月号参照）まとめましたが、多数枚スタックするとノイズは重ねた分だけ減少はするものの、一定方向に撮影範囲がずれることによって、その方向に一系列にノイズが並んでくる「斜めノイズ」（ネットでは引っかき傷と表現している方も多い）を作りだしてしまう危険性を孕んでいます。対策は一定方向にずれないように意図的に撮影範囲を不規則にずらす、つまりディザリング、を行うと良いようです。ただし、撮影範囲の動かし方によってはあまり効果が出ません。ではディザリングするのではなく、極軸のずれをできるだけ減らして、撮影範囲がほとんど動かないようにしたらどうなるだろう？今回試してみたのは、そのことです。

撮影を行ったのは8/4と8/8、対象は短時間露光多数枚スタックのお世話になることが多いであろう彗星です。鏡筒はSKY90+RD、カメラはEOS70D（lr）、フィルターなし、EM100でのノータッチ撮影です。

斜めノイズ対策としてのポールマスターVol2

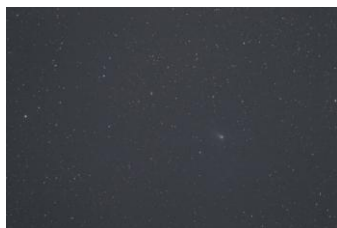
EM100は極軸望遠鏡の北極星導入メモリが2重線で囲まれた円形になっており、日付時刻でこの場所に入れる、という指示は出ません。なので北極星早見盤や、こぐま座 α 星の位置を見ながらその二本線の間のほどよい角度の位置に北極星を導入するのですが、当然ずれはやや大きめになっていると思います。それでも400mm60秒の手放し撮影くらいなら、星は点像に写ってきます。

今回まずいつも通りの方法で極軸を合わせた後、PoleMasterで極軸を合わせてみたところ、右のイメージの図くらい北極星の導入位置がずれていました(赤が通常、黄色がPoleMasterでの導入位置)。



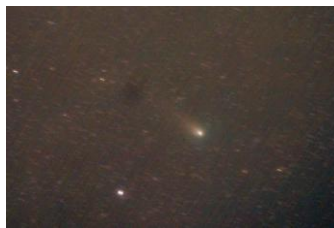
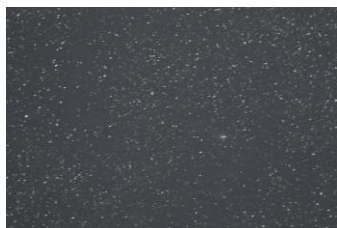
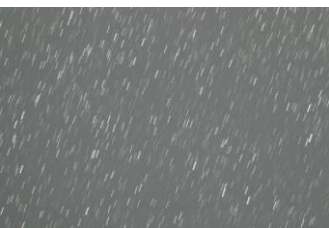
さて、8/4と8/8の撮影の比較の前に一つだけ確認しておきたいのが、両日の空の透明度の差です。この時期は透明度が非常に悪かったのですが、8/4をピークに徐々に透明度が改善した時期でもあり、8/4と8/8では同じ条件での撮影でもこれほど背景の空の明るさが違う、ということは念頭に置いておいてください。

両日の画像34枚ずつ、DSSでcomet mode、KappaSigmaClippingでスタックしました。Averageも試しにやってみましたがノイズはどちらも同じでした。単純比較のため、Dark減算や、Flat補正、Bias減算いずれもなし、の、Lightフレームのみでの処理です。

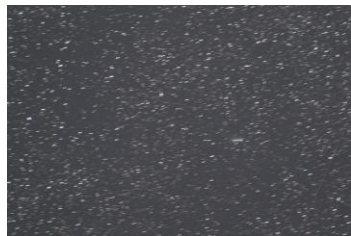


8/4の撮影は手動ディザリングを行ったのですが、それを忘れて撮りっぱなしにしていた時間が26分間ありました。その26分の画像をKikuchiMagickで比較明してみたところ、26分でこんなにずれていました。一方ポールマスターの方の26分間はずれが少ないですね。北極星が画面下に来るような方向にカメラを合わせていますので、ポールマスターの方は少なくとも赤緯方向のずれは皆無に近く、左右のずれが追尾精度(ピリオディックモーションを含む)なのかもしれません。こういうことなら2軸ガイドではなく1軸ガイドでも十分でしょうか？

彗星周辺部のピクセル等場トリミング、PSで画像全体の明るさが同じになるようにレベル補正したものです。やはりPoleMaster仕様の方がノイズが少ないですね。PoleMasterがいい、というわけではなく、斜めノイズを減らしたければまず極軸を追い込む、そしてディザリングをする、がまず始まり。決して画像処理が悪いわけではない、ということを肝に銘じて、撮影時点で頑張ること、ですね(笑)



8/4(左画像)はディザリングしながら67コマ撮影しました。ディザリングの方向は彗星核の位置が表していますが、このような平行移動では、十分には効果が出ないようですね。やらないよりは良いですが。一方で8/8(右画像)はディザリングなしでそのまま80コマ撮影しました。撮影範囲のずれは下の画像のとおりです。



ディザリングなし34コマのスタック

ディザリングすると、やっていないときよりは斜めノイズは減ったのですが、今回のディザリングの移動方向はあまり有効ではなかったようです。

PoleMasterもさすがに80分手放しだと赤経方向へのずれが出ており、そちら方向にノイズは発生しているようですが、8/4のものよりは少ない



8/8撮影分をその後あの手この手の処理でこういう風に仕上げましたが、やはりノイズは僕の画像にしてはだいぶ減らせてきましたよね。天の川の方に見えているため背景がうるさいですが、自宅からの割にはなかなかの画像になりました。



20180911配信 No4642

NGC891 アンドロメダ座の銀河

安元 治義

M31の陰で目立たないけど明るくて立派な銀河です。良く写り撮影しやすい銀河で 去年も撮影しました。おそろく来年も！！



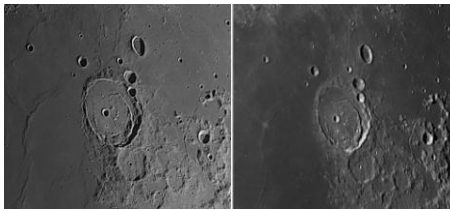
20cm反射F 5直焦点 EOS60D ISO3200
Light120sec x 35 Dark x 10 Flat x 10 2XDrizzle

20180912配信 No4643

ボセドニウス(下弦vs上弦)

川端 孝幸

晴れませんねえ、、、。ということで8月30日(月齢18.8)と3月23日(月齢5.9)の画像の比較で遊んでみました(^^) 8月のシーイングが悪いですが、随分印象が異なります。



C14+自作ADC+ASI224MC

20180914配信 No4646

2018.09.05

ジャコビニ・チンナー彗星(21P)と流星

山本 幸司

月の出の直前、香りの森の東の森の木々の上に、ジャコビニ・チンナー彗星(21P)が昇ってきました。偶然、小さな流星も!!! (笑)



日 時: 2018.09.05 00:06:44~
撮影地: 大分市香りの森付近
機 材: JILVA-170 (ノータッチガイド)
Nikon D810A
Apo-Sonnar T* 2/135 ZF.2 (F2→5.0)
ISO 1600 40sec
Photoshop CS2・S.Iにて画質処理

20180914配信 No4647

天の川の中に浮かぶ

デネブ・サドル付近の散光星雲

山本 幸司

天の川の星の多さには今更ながら感動です!!



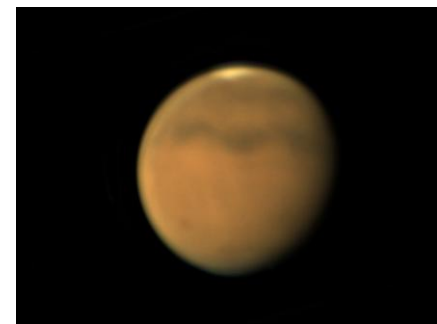
日 時: 2018.09.04 21:01~22:15
撮影地: 大分市香りの森付近
機 材: JILVA-170 (ノータッチガイド)
Nikon D810A
Apo-Sonnar T* 2/135 ZF.2 (F2)
ISO 1600 177sec x 26枚 (計77分)
DSS (64bitVer.4.1.1) にてコンボジット
(dark10枚/flat10枚)
Autosave(32Bit)処理
Photoshop CS2・S.Iにて画質処理

20180914配信 No4647

火星ナウ! (9/14)

川端 孝幸

雲間からチラッとお出まし(^^) このまま良いシーイングがないまま、シーズン終わるのかなあ、、、(´д`)トホホ。



2018-09-14 21h40m29s (JST)
C14+2xパーロー+自作ADC+ASI224MC

20180915配信 No4648

今年の火星接近の
最良シーイングのデータを再処理
刈 辰夫

晴れませんね〜。今度晴れても、火星は相当小さくなっているので、今後良好な画像は期待出来ません。今年の気流条件の良い日のデータを解像度を優先して再処理しました。模様の強調は無しで、見映えは良くないですが、現実にもっと近いと思われる自然な見え方にしています。



2018年8月30日21時27分センター 240s x 10
スカイウォッチャー25cmF4ニュートン GPD赤道儀
5倍パーロー adc asi224mc
シャッター5ms IRカットフィルター
autostakkert Registax Winjupos

20180915配信 No4649

火星ナウ! (9/15)

川端 孝幸

夕方から久しぶりに晴れましたねえ。シーイングそこそこ良いです。オリンポス山、タルシス3山ほか、細部がだいぶ見えます。



2018-09-10 20h00m12s (JST)
C14+2xパーロー+自作ADC+ASI224MC

20180916配信 No4651

昨夜(9/15)の木星、土星

川端 孝幸

夕方から晴天となった15日、久々に惑星たちがズラリと並びました。早いうちはシーイングも良かったです。西に傾いた木星もそこそこ写りました(^^)



2018-09-15
木星: 19h03m42s、
土星: 19h19m43s (JST)
C14+2xパーロー+自作ADC+ASI224MC

20180916配信 No4652

これまでと、今夜(9/16)の金星

太田 輝章

本日の金星です。天気が悪く2週間撮れなかった間に極端に大きく成長しました。



20180917配信 No4653

今夜(9/16)の土星

川端 孝幸

昨夜に続き晴れました！光軸調整したC14で再挑戦。リング像を見るとだいぶ改善しました。マメにシュミカセは調整しないといけませんね。

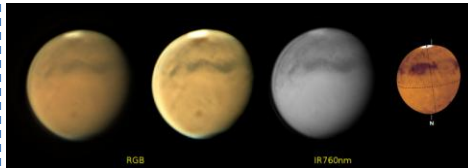


2018-09-16 20h21m41s (JST)
C14+2×バーロー+自作ADC+ASI224MC

9/16の火星

川端 孝幸

最近では珍しく2日続けて星空です！(´ω`)／シーイングまで賛言言いません(〜) RGBはコントラストを上げたのを追加。極冠は飛ばしましたが、模様は見やすいかな。



シーイング：2〜3/10、透明度：3/5
IR760nm：2018-09-16 12h25m20s (UT)
RGB：2018-09-16 12h16m42s (UT)
共通：C14+2×バーロー+自作ADC+ASI224MC

20180917配信 No4654

昨日(9/16)の金星と火星の大きさ比較

太田 輝章

金星が大きくなった分、火星が小さく見えてしまいました。今回木星は曇りのため撮っていませんので、参考に先月撮影したものを並べました。



APM ZTAL52
HYPERION 10mm
ATLUX赤透鏡(AGS-1S)
ASI120MC

21Pジャコビニ・チンナー彗星

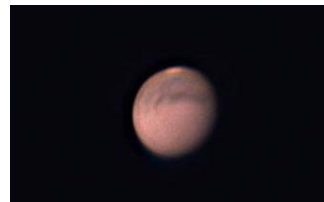
太田 輝章

丸1ヶ月振りの邪呼美に珍名彗星です。昨夜撮れていればM35とのコラボだったのですが。400mmで合成してみました。



20180919FB友の会より

安元 治義

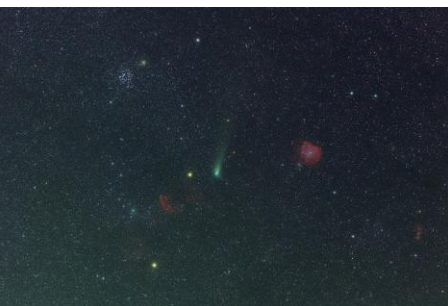


20180917配信 No4655

21Pジャコビニ・チンナー彗星

吉野 圭司

昨夜家を出るころはべた曇りでしたが、会長の徘徊に付き合うつもりで、お気軽撮影セットを持って香りの森へ行ったところ、雲一つない晴天に恵まれ、久しぶりに夜空を満喫できました。くらげ星雲とモンキー星雲の間を通過中の彗星です



場所：香りの森
日時：2018/09/17 2:39〜3:05
機材：ボラリエ、PoleMaster
D810a + Sigma 135mm F1.8
条件：ISO3200, ss=30s 14枚, Flatあり
ソフト：DSS, Photoshop CC, NeatImage

20180918配信 No4656

2018.09.17

ジャコビニ・チンナー彗星(21P)

山本 幸司

9/17明け方のGiacobini-Zinner彗星です。この日彗星はふたご座カストルの左足先近くにあり、その付近は以下の星雲星団があり、色合い豊かなきれいな宙域を進んでいました。
超新星残骸C443(クラゲ星雲)ふたご座
散光星雲NGC2174(モンキー星雲)オリオン座
散開星団M35ふたご座



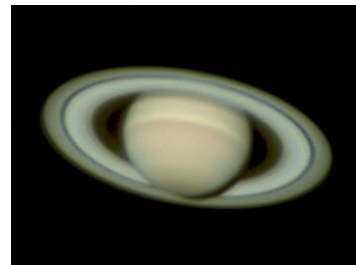
処理が遅くなりました、PCの入れ替え中で、使い慣れたフリーソフトが中々うまく動かず苦労しました・(笑) 1.35mmカメラレンズで撮影して2×Drizzleしてますので270mm相当となります。構図合わせ時にわずかにピントが動いてしまったようで残念です。
日時：2018.09.17 03:44〜03:52
撮影地：大分市香りの森付近
機材：JILVA-170(ノータッチガイド)
Nikon D810A・
Apo-Sonnar T* 2/135 ZF.2 (F2.5)
ISO 3200 59sec×10枚(計10分)
DSS(64bitVer.4.1.1) 2×Drizzleコンボジット
(darkなし/flat3枚)
Autosave(32Bit)処理 PhotoshopCS2・S.I

20180919配信 No4657

昨夜(9/18)の土星

川端 孝幸

今日も土星、ちょっとお色直し(〜)



Saturation+6
2018-09-18 19h21m43s (JST)
C14+2×バーロー+自作ADC+ASI224MC

20180919配信 No4657

昨夜(9/18)の火星

刈 辰夫

約3週間ぶりに晴れて、小さくなった火星を撮影しました。雲の多い天気でしたが、比較的気流条件は良好でした。



2018年9月18日21時48分センター 240s×8
スカイウォッチャー25cmF4ニュートン GPD赤道儀
5倍パロー adc asi224mc
シャッター5ms IRカットフィルター
autostakkert Registax Winjupos

20180920配信 No4658

昨夜(9/16)の木星

川端 孝幸

木星、今期撮り納めかな(^^)9月16日撮影分です。もうこれ以上西に行っちゃってベランダからは厳しくなります。

2018-09-16 18h49m20s (JST)
C14+2×パロー+自作ADC+ASI224MC



20180920配信 No4659

二重星団、ハート星雲、胎児星雲

吉野 圭司

彗星が撮影出来る高度になるまで、これらの星雲星団を撮ってみました。



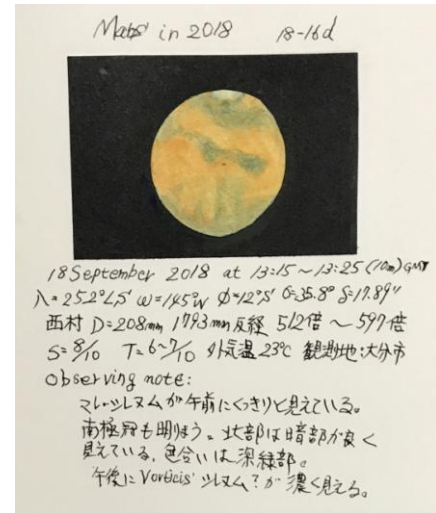
場所：香りの森
日時：2018/09/16 23:41~2018/09/17 0:39
機材：ボラリエ、PoleMaster
D810a + Sigma 135mm F1.8
条件：ISO3200, ss=60s 20枚,ss=90s 20枚
Total=50min
Flatあり、トリミングあり
ソフト：DSS, Photoshop CC, NeatImage

20180920配信 No4660

9月18日の火星スケッチ

中野 雄吉

天候が悪く13日ぶりに火星観測スケッチをしました。視直径は17 “台まで小さくなりましたが昨夜はシーイングが良くて細部の見える瞬間1、2分は溜息の出る美しさでした。スケッチ円は8センチから6センチに変更しました。



20180922配信 No4663

まだまだ火星(9/18)

川端 孝幸

未処理分をポチポチやってます(^^)



シーイング：3/10、透明度：3/5
2018-09-18 20h16m03s (JST)
C14+2×パロー+自作ADC+ASI224MC

20180923配信 No4665

今夜も土星(9/22)

川端 孝幸

土星撮ってる間に曇っちゃいました(^^)これから打ち上げらしいですね(HII B)。遠征すべきか、、、。



2018-09-22 19h55m09s (JST)
C14+2×パロー+自作ADC+ASI224MC
ASI3+Registax6 (Saturation+3)

祝：2018.09.23H-II Bロケット7号機
打ち上げ成功！

山本 幸司

延期になっていた、H-II Bロケット7号機(H-II B・F7)による宇宙ステーション補給機「こうのとり」7号機(HTV7)の打ち上げ成功おめでとうございます。
夜半くらいから曇ってしまった大分、何とか見れるところはないかと、ぎりぎりまで衛星の雲画像をにらんでいましたが、東に行くほど確率は高そうと決断し、以前打ち上げを見た佐賀関の海岸に出撃しました。到着すると、打ち上げの方向の南から南東方向の低空部に雲の隙間が有るようで、そちらに雲が流れないように祈りながら打ち上げを待ちました。打ち上げ予定の02:52:27を少し過ぎたころ、予定通りの位置にオレンジ色の発光が見え、双眼鏡を向けるとロケットの噴射がしっかり見えました！その後、雲に入ったり出たりで、見えたり見えなかったりでしたが、この曇天の中、少しでも見れただけでラッキーでした！！



20180923配信 No4666

秋分の日前の昨夜(9/22)の火星

刈 辰夫

すっかり秋の空になり、薄いウロコ雲を通して撮った火星です。裏場の暑さほどではないですが、半袖半パンで蚊を避けながらやってます。
気流は夕方がよく、夜半過ぎにかけて悪くなっているパターンも変わっていません。モニター画面では、気流は悪いのですが、眼視では、それ程でも無く、極冠が真っ白に輝いているのが印象的でした。極冠の明るさが際立っているので、写真では、白とびしえます。また、薄い雲でも光量は極端に減りますので、ノイズっぽいです。



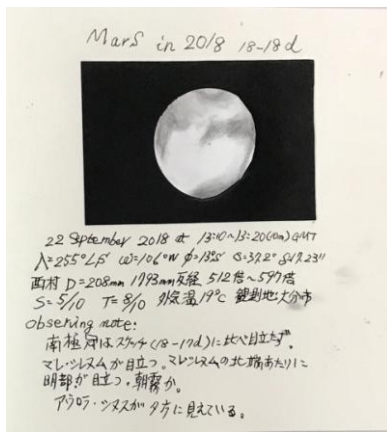
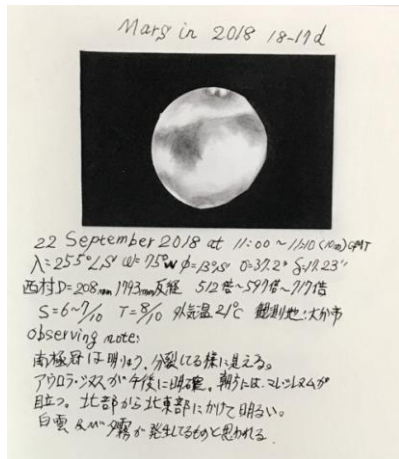
2018年9月22日20時43分センター
2018年9月22日21時20分センター
スカイウォッチャー25cmF4ニュートン GPD赤道儀
5倍パロー adc asi224mc
シャッター5ms 240s×10
autostakkert Registax Winjupos

20180923配信 No4667

昨夜(9/22)の火星スケッチ

中野 雄吉

昨夜の火星スケッチ2枚です。1回目の観測の時間帯はますますのシーイングでしたが、2回目の観測はシーイング悪化してきましたので、とりあえず観測はして望遠鏡を撤収しました。2回目の時は寒くて長袖シャツを着ました。夜は寒くなりました。スケッチは鉛筆と雑筆を使用。



20180924配信 No4668

9/22の金星

太田 輝章

先週よりひと回り大きくなりました。30倍でも十分に大きく見えているので、素人さんに見せるのにはいい感じの見え方です。



20180923配信 No4664

4惑星そろい踏みのお

川端 孝幸

4惑星で賑やかだった2018年の夏季シーズンもいよいよ終わりですね。金星、木星、土星、火星ご苦勞さん！あつ金星は全然撮ってません(〃)



20180925配信 No4669

中秋の名月・・・に一番近い月

藤吉 健児

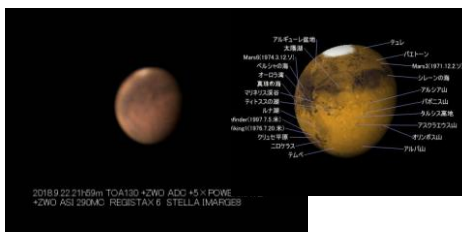
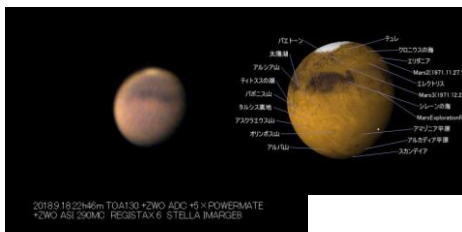
どうやら貴重な画像となりそうなので、ご報告いたします。ずっと雨の一日だったのでお月見なんてとてもとて、と思っていたところ、日付が変わって1時間42分後、もう寝ようと思ってその前に空を見上げたところ、雲にわずかな隙間ができていて、見ることができました。日付が変わってしまっているのに正確には中秋の名月とは言えないかもしれませんが、星屋の日付変更点は夜明けだと思いますので、まあお許しを

20180925配信 No4670

9/18・22の火星

丸野 閑由

火星も-2等から-1.6等まで落ちてきました。視直径も20を切りましたが、ペランダ撮影ができるので、晴れば撮影にチャレンジしています。18日の火星はマリネリス峡谷が見える位置ですが、しっかりと見えてません。22日の火星ではオリンポス火山が見える位置ですが、タルシス3山が少し見えそうですが1.3cmではハッキリと確認は厳しいようです。

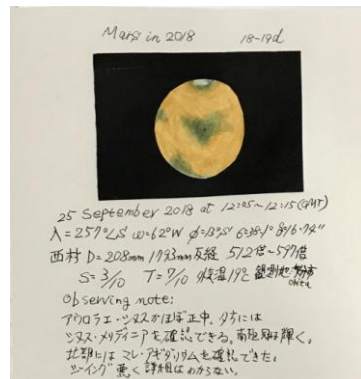


20180926配信 No4671

昨夜(9/25)の火星スケッチ

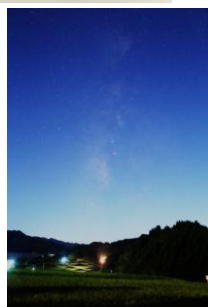
中野 雄吉

シーイングは最悪です。暗色模様や南極冠辺りの詳細はわかりません。アウロラエ・シヌスがほぼ真中に目立ってました。南極冠は輝いてますが先日の気流の良い時のような亀裂や分裂などは確認できません。すぐに雲が出てくる状況でしたので1回目観測を終わりました。



20180927 FB友の会より

奈須 栄一



20180928配信 No4673

冠雪のアペニン山脈(^^)

川端 孝幸

少々晴れたのですが、あまりの悪シーイングに閉口。火星は見るも無残な状況。ならば月でも思ったのですが、気流悪ければこちらも同じですね。まあ妄想の1カットとお許しを。それでもハドレー谷は見えるのね。



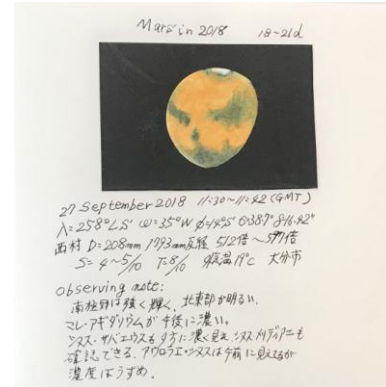
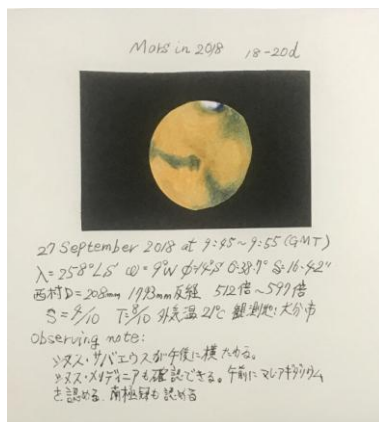
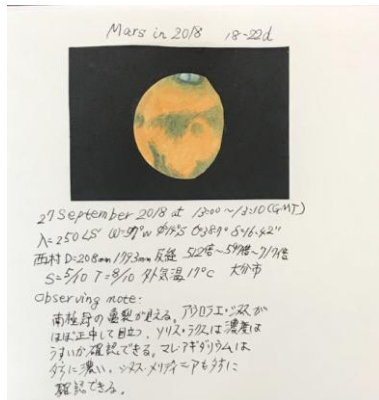
2018-09-27 01h16m27s(JST)
C14+IR76+ASI224MC

2018928配信 No4674

昨夜(9/27)の連続観測スケッチ

中野 雄吉

天気が良く雲が少なかったのラッキーでした。シーイングは先日より良くなりましたが風は強い状態で見てました。最後の $\omega 57^\circ$ 辺りで南極冠の亀裂が見えてました。シーイング良ければ、もう少し細部が見れたのではないかと思います。最後の観測スケッチが終わり外気温を見たら17℃でした。寒くなりました。

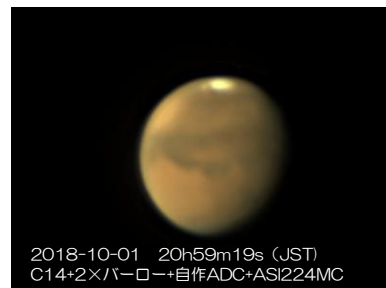


20181002配信 No4678

一昨日(10/1)の火星

川端 孝幸

台風は各地に被害を及ぼしたようです。皆さま大丈夫でした？火星は徐々に小さくなっています。シーイングが厳しいのでイマイチな画像ですが、極冠から分かれた光点ミッCHEル山は良く見えます。取り急ぎドラフト一枚掲載。



2018-10-01 20h59m19s (JST)
C14+2xバーロー+自作ADC+ASI224MC

一昨日(10/1)の火星スケッチ

中野 雄吉

視直径も15"になりました。シーイングかなり悪く、暗色模様位置の同定も何とか確認できる程度。時おり気流が一瞬ですが良くなる瞬間もありますが厳しいです。南極冠の東側に輝点が見えていて目の錯覚かとも思いましたが、季節の変化でMt.ミッCHEルが見えてたみたいです。初めて捉えることができました。あとで見てみると先週くらいからCMOやALPOのメンバーの方達の写真を見るとクッキリと写し出されてたみたいです。眼視で確認できたので満足です。22時前の2回目の観測ではなお気流は悪くなり全く見えない状況なので望遠鏡を撤収しました。なお前回、 $\omega 9^\circ$ 辺りでは昨夜よりシーイング良いに聞けらず、Mt.ミッCHEルは確認できてません。。。

20181002配信 No4680

アウトタルック山脈??

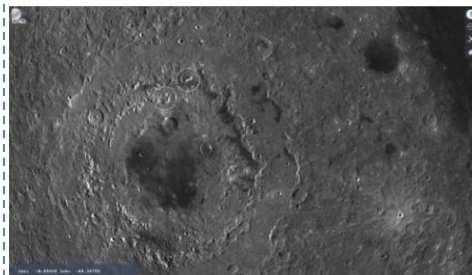
藤吉 健児

台風一過の10/01未明、月をぼんやり眺めていたら西の地平線に見慣れない富士山のような山を見つけましたので撮影してみました。秤動の関係で月の西側が多少こちら側を向いている時期ですので春の湖や東の海、といった、秤動の向きによっては見えにくくなる場所が見えています。



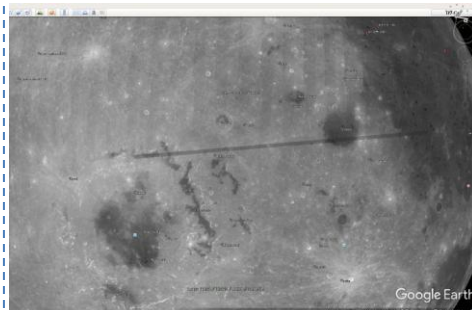
EdgeHD800+Vixen2xBarlow+ASI290MC
2018.10.01 02:43JST(+0900) 自宅庭より

グリマルディとほぼ同じ緯度でシュレーターの向こうとなりますと、月の裏側のあのでっかいクレーター、オリエンタルベイズンの外輪山、アウトタルック山脈の一部だったりして、と思っていましたところ新潟の渡辺真一巨匠より、ここじゃないかとコメントをいただきました。だとするとかなり裏側まで見えていますね・・・



渡辺真一さん提供の画像
LROCのQuickMapでの3Dモードからの画面コピーとこのことです

実際に写っている地形からGoogleMoonに視線の方向の線を入れてみますと確かにそんな方角ですね。



GoogleEarthよりキャプチャ、視線方向に線入れ

嵐の大洋には1966年06/02、僕が生まれる直前にありますが、サーバイヤー1が着陸して月面画像を送信したそうですね。もしその着陸船が有人飛行可能だったとして、着陸前に窓から月面を見たらこんな風に見えるのかなあ、とか考えると楽しいです。出来れば一度自分の目で見てみたい、とは思いますが・・・



アストロインフォメーションバックナンバーご案内

大分天文協会の会報として、ニューアストロインフォメーションを2018年03月から発行を再開しています。今回の8月号まで、毎月1回発行しています。
それぞれYahoo!ボックスからダウンロードが可能です
次のアドレス(リンク)から目的に応じて好きな方をダウンロードしてください
(左上の青い矢印のダウンロードをクリック)



1) 通常 (通常PDF版：3～5M) A4版

- ・2017.11 (094.96) 号 <https://yahoo.jp/box/eAMtE1>
- ・2017.12 (094.97) 号 <https://yahoo.jp/box/WSgTHB>
- ・2018.01 (094.98) 号 <https://yahoo.jp/box/duILRu>
- ・2018.02 (094.99) 号 <https://yahoo.jp/box/sw8gKq>
- ・2018.03 (095) 号 <https://yahoo.jp/box/BkGw61>
- ・2018.04 (096) 号 <https://yahoo.jp/box/IP2hCW>
- ・2018.05 (097) 号 <https://yahoo.jp/box/j6CZ3e>
- ・2018.06 (098) 号 <https://yahoo.jp/box/ekTjsf>
- ・2018.07 (099) 号 <https://yahoo.jp/box/tIR2Aw>
- ・2018.08 (100) 号 <https://yahoo.jp/box/QRKehN>
- ・2018.09 (101) 号 https://yahoo.jp/box/J_GntK

一般的閲覧・一般印刷機による印刷用はこちらどうぞ。

2) HQ版 (ハイクオリティー版：30M前後)

- ・2017.11 (094.96) 号 <https://yahoo.jp/box/8UF--H>
- ・2017.12 (094.97) 号 <https://yahoo.jp/box/JzZ6eY>
- ・2018.01 (094.98) 号 <https://yahoo.jp/box/VQkWOH>
- ・2018.02 (094.99) 号 <https://yahoo.jp/box/6reamQ>
- ・2018.03 (095) 号 <https://yahoo.jp/box/YEAULE>
- ・2018.04 (096) 号 https://yahoo.jp/box/cl81_m
- ・2018.05 (097) 号 <https://yahoo.jp/box/rHMdVN>
- ・2018.06 (098) 号 <https://yahoo.jp/box/9x5buk>
- ・2018.07 (099) 号 <https://yahoo.jp/box/f-wwox>
- ・2018.08 (100) 号 <https://yahoo.jp/box/0larbO>
- ・2018.09 (101) 号 <https://yahoo.jp/box/bpo2PS>

タブレットPCなどを使って会誌を電子書籍として読むスタイル (指を使った拡大操作が可能) に対応出来るように紙面サイズを非常に大きくし、掲載画像のクオリティもあげています。高性能の印刷機の場合はこちらのデータをお使いください。

=====

NEWアストロ・インフォメーションの配信について

- ・本会誌の原稿の大部分はMM (IT版ミニインフォメーション) からの転載です。皆さんの日々の事務局への観測報告をまとめたものと成ってます。会誌内の記事・写真には、掲載されたMM番号・日にちが書かれています。詳しく見たい方はMMをご覧ください。
- ・配信の方法は以下の通りとしますので、ご都合の良い方法で受信下さい。
 - 1) MM (IT版ミニインフォメーション) にPDF版を添付して配信します (3～5Mになりそうです)
 - 2) Yahoo!ボックスに会誌をアップしますのでそこからダウンロードしてください。
 - 1) と同じ番号のMM-2でYahoo!ボックスアドレスをお知らせします
 - 1) が受信できなかった方にも配信したことが分かると思います。Yahoo!ボックスにアップしてます会誌は以下の2種類です。

目的に応じて好きな方をダウンロードしてください。

 - a) MMで配信したPDF版と同じ通常 (3～5M) A4版
一般的閲覧・一般印刷機による印刷用
 - b) HQ (ハイクオリティー：約10倍の30M以上) 版
タブレットPCなどを使って会誌を電子書籍として読むスタイル (指を使った拡大操作が可能) に対応出来るように紙面サイズを非常に大きく、掲載画像のクオリティもあげています。
高性能の印刷機の場合はこちらのデータをお使いください。
 - 3) Facebookの新大分天文協会友の会にもアップします。
 - 4) 協会HPにPDF版をアップします。
- ・データが大きいので、お使いのメーラーや環境によっては受信できなかった迷惑ホルダー (ゴミ箱) に振り分けられたりするかもしれませんのでご確認ください。
- ・1) の添付メールが受信出来たかどうか？知らせていただくと検討情報になりますのでお願いいたします。

会誌の記事・写真の大部分は、日々会員の皆さんが事務局に送ってくれる観測報告を元にしたMM (IT版ミニインフォメーション) ですから、このように会誌にまとめて1か月分を通してみると、会員の皆さんの熱心な天文活動・観測に驚くとともに嬉しくなります。また、皆さんの観測・画像処理技術・工作工夫などの進歩向上の凄さにも驚かされます。改めて、MM内容を会誌に見やすくまとめる提案をされた編集長に感謝です。

再スタートした会誌の発行ですが、行く末は、編集長と、皆さんの観測投稿で決まります。編集長には無理してほしくないで発行日などは温かい目で見守ってあげましょう！会誌の元となるMM (IT版ミニインフォメーション) への投稿もよろしくお願いします。また、元となる、MM記事のコメントの大部分は事務局 (山本) が日々書いていますが、誤字脱字などが結構あるようです。キチンと見直す時間が無いので申し訳ありません。この会誌は、そのMMを再編集していますので誤字脱字は事務局の責任です、ご容赦ください。

「青少年のための科学の祭典大分大会2018」 応援募集中！

10月14日(日)「青少年のための科学の祭典大分大会2018」
開催日時：2018年10月14日(日) 10:00~16:30
会場：津久見市 津久見市民会館
〒879-2413 津久見市大字津久見浦3825番地の100
Tel：0972-82-5265
予定：太陽観測・その他

参加予定者(6人)：山本・丸野・太田親子(?)・吉野夫婦
その他応援大募集中！
科学の祭典はここ数年参加者が固定しています、
天文協会の活動理念の「天文学の普及」の原点的活動です、
ぜひ多くの参加協力をお願いいたします。
太陽観測は危険が伴う観測です、安全対策には人数は
幾らいても助かります、是非お願いします！
※お弁当：10/5までに事務局に申しでされた方にはお弁当がです。

以下はNEWアストロ・インフォメーション発行直前で延期が決定しましたが、
そのような案内があった、という記録として掲載させていただきます 編集部

天候不順のため
延期

「第四回・四季の星空観測」 応援募集中！

日時：10月7日(日)
19時~21時
会場：野津原中部小学校
担当：丸野さん・応援募集中

天候不順のため
延期

「10/7 (仮称) 香りの森大型双眼望遠鏡観望会」のご案内

奈須さんから素敵な企画の連絡が届きました、ありがとうございます。
徳島県徳島市在住で、大型双眼天体望遠鏡で有名な「山本 幸次さん」と言う方が香りの森にその大型双眼望遠鏡を持ってきてくれるという企画です。有名な・・・と言うことですが、申し訳ないことに事務局は知らないで、Googleで検索しても見つかりませんでした。Facebookにはそのお名前とすごい望遠鏡の写真があったのでおそらくその方と思われます。(Facebookの写真を1枚無断で拝借させていただきました(笑))

55センチのニュートン反射2台をつなげての双眼望遠鏡ですか！！！！すごいですね！！！！本当に！この望遠鏡以前ほかのサイトで見ただけがあります！その方が有名な「山本 幸次さん」だったんですね！！！！(奈須さん、もしこの方と違ってたら連絡ください) 遠く、徳島から来られるので晴れないと意味ないので、最終決定は10/5くらいだそうだし、開催時間なども決まっていないうで、決定次第奈須さんから連絡あるようです。ご関心ある方は貴重なチャンスですからぜひ！！！！ただ、この日は丸野さんが第四回・四季の星空観測 野津原中部小学校開催で、応援を募集していますから・・・バッチングしちゃいましたね！嬉しい悲鳴で、困りましたね！！！！

至急なことで大変申し訳ないのですが、ご連絡です。

徳島県徳島市在住で、大型双眼天体望遠鏡で有名な「山本 幸次さん」が、来る10月7日夕方頃に香りの森に来られます。
10月5日の夜に天気予報を見てこちらに来られるか検討されとのこと。中止の場合、また連絡を致します。
普段は、結露しない場所で観望をされているため、結露対策を全くしていないとのことで、当日の状況次第では早めの終了となるかもしれません、ご了承ください。
一部の予報では来週末も台風が来そうなので、開催が微妙ですが、参加希望の方は、奈須までご連絡をください。

大分天文協会
奈須 栄一
870-1213 大分市大字下原986
080-2755-0815

10/7 (仮称) 香りの森大型双眼望遠鏡観望会
日にち：2018年10月07日(日)
10/5に決定します
時刻：未定(決まり次第お知らせします)
場所：香りの森ラベンダー園駐車場
連絡：参加希望は奈須さんへ直接か事務局まで





大分天文協会

Astronomical Society of Oita